

九州のなかま

2010 - 7

秋闘情報: NO. 7

発行日 : 2010年11月8日(月)

発行者 : 生協労連 九州地連

九州地連 福祉・介護事業交流会を開催しました 介護とは「人生そのものに寄り添うこと」

11月7日(日)、九州地連第2回福祉・介護事業に携わる2単組40名のなかまがエフコープ篠栗センターに集いました。午前中は笑う介護士・袖山卓也さんによる「介護に携わる人が元気で働くために」のテーマで学習講演が行われました。「現行の介護保険制度は間違っている!」、「福祉・介護の職場を“3K”と言うが、それは利用者さんに“死ね”と言っているのと同じこと。自分たち(介護士)がいないと、彼らは生きてはいけない」、「愚痴を言う前にやること、やれることがあるはず」等々。「人が生きる(介護)ということは、『心』『身体』『脳』の3つの要素がそれぞれ機能しているから生きられる」、「介護は目新しいことをやるのではなく、普段の生活の中で家族以上の愛情を注ぐことで、心・身体・脳が反応する」。袖山さんの歯切れの良い、パワフルな語り口に、参加者は真剣に聞き入っていました。袖山さんは講演の中で「目の前に間違った介護保険制度がある。今、自分たちにやれることやっていく。」と述べられていました。介護を必要とされている人が必要なサービスが受けられ、サービスを受ける人、サービスを提供する人たちが前向きに「生きる」ことができる制度を九州地連、生協労連、全国の働くなかまとともに求めていきましょう!!



講師の袖山卓也氏

午後からは職種別交流会を行い、それぞれの働き方、職場の問題点などを交流しました。今回はエフコープ生協労組から、労組未加入の登録ヘルパーも参加し、互いの仕事内容、現行制度での矛盾点などを話し合いました。その中で、学習の場、交流の場を持ちたいということで、「登録ヘルパーの交流会」を開催しよう、という話が持ち上がりました。エフ労組、是非実現に向けての検討を...!!

ケアマネジャー



心ごと抱き起こす仕事をしていきたい。介護の仕事に携わった最初の気持ちを思い起こした。

サービス提供責任者、ヘルパー、通所介護



サービス提供責任者、ヘルパー、通所介護



介護というより、人が好きだからこの仕事をしている。

登録ヘルパー
こういう集まりの場があればいいね! 学習もしたい、交流もしたいね。

